

## 平成22年3月期 第3四半期決算短信

平成22年2月5日

上場取引所 JQ

上場会社名 株式会社うかい

コード番号 7621 URL <http://www.ukai.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 大工原 正伸

問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長

(氏名) 潮 一生

TEL 042-666-3333

四半期報告書提出予定日 平成22年2月12日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成22年3月期第3四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第3四半期	9,628	△7.6	553	△27.1	431	△30.5	170	150.1
21年3月期第3四半期	10,416	—	759	—	621	—	68	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第3四半期	33.83	33.40
21年3月期第3四半期	13.46	13.04

#### (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭
22年3月期第3四半期	14,795	891.74	4,521	29.7	29.7	891.74
21年3月期	15,512	895.58	4,949	29.3	29.3	895.58

(参考) 自己資本 22年3月期第3四半期 4,390百万円 21年3月期 4,550百万円

### 2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
22年3月期	—	0.00	—	—	—
22年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

### 3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	12,380	△6.2	330	△45.5	140	△67.9	0	△100.0	0.00

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

#### 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 一社 (社名 ) 除外 一社 (社名 )

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有  
(注)詳細は、4ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第3四半期	5,229,940株	21年3月期	5,087,440株
② 期末自己株式数	22年3月期第3四半期	306,240株	21年3月期	6,240株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第3四半期	5,054,882株	21年3月期第3四半期	5,081,293株

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

景気動向が業績に与える影響については、現在精査中であり、現時点では通期業績予想につきまして、平成21年9月に発表した業績予想を修正せず、据え置いております。なお本資料に記載されている業績予想は、当社が発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断した一定の前提に基づいており、実際の実績等は様々な要因により異なる可能性があります。

## 定性的情報・財務諸表等

### 1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部に持ち直しの動きがみられたものの、雇用情勢は厳しさを増しており、所得環境の悪化により個人消費が低迷し、先行き不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、生活防衛意識の高まりによる一般消費者の節約志向により、個人消費の減少が依然として続いており、厳しい経営環境に直面しています。

このような経済環境のもと、当社グループにおきましては創業の原点に戻りお客様への最高の感動を提供するため、ホスピタリティの向上と最高の料理提供を重点施策として取組み、併せて全社の営業推進体制による既存店の強化を図ってまいりました。また、平成21年12月7日に組織変更および人事異動を行い、「経営企画室」を新設し「営業推進室」「危機管理室」の三本柱によって各事業所の連携を一層深める体制といたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は9,628百万円(前年同期比7.6%減)、営業利益は「GRILLうかい」の開業費負担等により553百万円(同27.1%減)、経常利益は431百万円(同30.5%減)となりました。また、平成22年10月開店予定の「日本橋とうふ屋うかい」(仮称)の出店計画中止にともなう損失として77百万円を計上した結果、170百万円の四半期純利益(同150.1%増)となりました。

事業の種類別セグメントの状況は次のとおりであります。

#### [飲食事業]

飲食事業におきましては、売上高7,893百万円と前年同期比7.3%の減収となりました。

##### ① 和食事業

「東京芝とうふ屋うかい」が第2四半期に引き続き開店以来4年連続の増収となり利益に貢献したものの、他店舗の売上が低調に推移したこと、また前年11月に和食事業全店にて過去最高の売上高を記録したことにより第3四半期(10月～12月)売上高は前年同四半期比5.5%減、第3四半期累計(4月～12月)でも前年同期比4.8%減となりました。

##### ② 洋食事業

高価格帯での消費低迷はあるものの、第3四半期は横浜うかい亭25周年記念「美食の饗宴」やクリスマスを絡めた企画をはじめとする多くのイベントを開催した結果、既存店の売上高を前年同四半期比6.3%減にとどめることができました。また平成21年9月3日に開店した「GRILLうかい」は順調に推移しており、同年7月末日の「ウカイリゾート」の閉店を含めた洋食事業全体としては前年同四半期比3.8%減、第3四半期累計で前年同期比10.1%減となりました。

#### [文化事業]

文化事業におきましては、リゾート施設の利用客の減少やレジャー商品の手控え等が進む中、「箱根ガラスの森」では『黄金時代のヴェネチアン・グラス展』、「河口湖オルゴールの森」で『河口湖オルゴールの森コンサート』の特別企画を軸としたイベントを開催し集客を図りましたが、団体客の減少により売上高1,734百万円と前年同期比8.6%減となりました。

### 2. 連結財政状態に関する定性的情報

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

当第3四半期連結累計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ717百万円減少し、14,795百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少261百万円、有形固定資産の減少206百万円、保険積立金の減少163百万円等によるものであります。

当第3四半期連結累計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ289百万円減少し、10,273百万円となりました。主な要因は、有利子負債が296百万円減少したこと等によるものであります。

当第3四半期連結累計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べ427百万円減少し、4,521百万円となりました。主な要因は、四半期純利益170百万円、剰余金の配当による減少50百万円、自己株式の取得による減少555百万円等によるものであります。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第3四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ261百万円減少し1,265百万円となりました。当第3四半期連結累計期間におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は797百万円(前年同期は1,227百万円の獲得)となりました。主な要因は、税金等調整前四半期純利益350百万円、減価償却費430百万円等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、支出した資金は107百万円(前年同期は372百万円の支出)となりました。主な要因は、保険積立金解約による収入188百万円、有形固定資産の取得による支出305百万円等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、支出した資金は951百万円(前年同期は37百万円の収入)となりました。主な要因は、社債の発行・償還、借入の実行・返済により有利子負債が純額で339百万円、自己株式の取得555百万円、配当金の支払い50百万円等の支出があったためであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

景気動向が業績に与える影響については、現在精査中であり、現時点では通期業績予想につきまして、平成21年9月4日に発表した業績予想を修正せず、据え置いております。なお、業績予想を見直す必要が生じた場合には、直ちに開示する予定です。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,265,434	1,526,553
売掛金	374,537	357,618
商品及び製品	180,652	182,731
原材料及び貯蔵品	251,927	228,709
繰延税金資産	38,948	89,807
その他	213,815	165,586
貸倒引当金	△208	△206
流動資産合計	2,325,107	2,550,800
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,147,710	11,309,010
減価償却累計額	△4,973,033	△4,779,503
減損損失累計額	—	△233,767
建物及び構築物(純額)	6,174,677	6,295,740
土地	2,589,708	2,677,708
建設仮勘定	5,455	7,040
美術骨董品	1,267,010	1,266,342
その他	1,166,390	1,125,055
減価償却累計額	△847,404	△803,203
減損損失累計額	—	△6,242
その他(純額)	318,985	315,609
有形固定資産合計	10,355,838	10,562,440
無形固定資産	45,902	36,611
投資その他の資産		
投資有価証券	19,164	20,182
繰延税金資産	1,002,127	1,101,341
敷金及び保証金	1,013,757	1,022,638
その他	33,250	218,260
投資その他の資産合計	2,068,298	2,362,422
固定資産合計	12,470,040	12,961,473
資産合計	14,795,147	15,512,274

(単位:千円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成21年12月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	342,987	279,772
1年内償還予定の社債	462,000	327,000
短期借入金	1,140,000	1,500,000
1年内返済予定の長期借入金	1,641,764	1,573,570
未払法人税等	22,613	29,533
賞与引当金	24,976	117,971
店舗閉鎖損失引当金	—	29,290
その他	656,046	618,856
流動負債合計	4,290,387	4,475,992
固定負債		
社債	1,103,000	719,000
長期借入金	4,274,815	4,821,343
退職給付引当金	567,783	539,723
その他	37,672	7,016
固定負債合計	5,983,271	6,087,083
負債合計	10,273,658	10,563,076
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,291,007	1,153,269
資本剰余金	1,836,412	1,698,674
利益剰余金	1,819,577	1,699,394
自己株式	△562,948	△7,948
株主資本合計	4,384,048	4,543,389
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	6,629	7,235
評価・換算差額等合計	6,629	7,235
新株予約権	34,691	310,023
少数株主持分	96,119	88,549
純資産合計	4,521,488	4,949,198
負債純資産合計	14,795,147	15,512,274

(2) 四半期連結損益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
売上高	10,416,377	9,628,471
売上原価	4,702,928	4,392,966
売上総利益	5,713,449	5,235,505
販売費及び一般管理費		
役員報酬	167,523	155,497
給料及び手当	1,643,234	1,605,921
賞与引当金繰入額	16,629	13,259
退職給付費用	33,470	34,346
役員退職慰労引当金繰入額	12,488	—
賃借料	552,812	563,019
減価償却費	313,253	286,115
その他	2,214,962	2,023,834
販売費及び一般管理費合計	4,954,373	4,681,994
営業利益	759,075	553,511
営業外収益		
受取利息	6,983	3,809
受取配当金	637	499
保険解約返戻金	—	14,166
受取保険金	—	10,113
その他	10,465	14,767
営業外収益合計	18,085	43,357
営業外費用		
支払利息	148,907	137,751
社債発行費	—	17,568
その他	7,015	9,827
営業外費用合計	155,923	165,147
経常利益	621,237	431,721
特別利益		
固定資産売却益	2,211	625
店舗閉鎖損失引当金戻入額	—	7,400
保険差益	48,018	—
特別利益合計	50,230	8,026
特別損失		
固定資産除却損	4,596	4,878
固定資産売却損	484	6,450
たな卸資産評価損	15,391	—
減損損失	339,313	—
災害による損失	9,382	—
店舗閉鎖損失引当金繰入額	29,290	—
出店計画中止損失	—	77,480
特別損失合計	398,458	88,808
税金等調整前四半期純利益	273,009	350,938
法人税、住民税及び事業税	49,620	21,888
法人税等調整額	127,303	150,485
法人税等合計	176,923	172,373
少数株主利益	27,716	7,569
四半期純利益	68,370	170,995

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年12月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	273,009	350,938
減価償却費	457,117	430,933
減損損失	339,313	—
固定資産除却損	4,596	4,878
災害損失	9,382	—
保険差益	△48,018	—
退職給付引当金の増減額(△は減少)	6,966	28,060
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	12,488	—
受取利息及び受取配当金	△7,620	△4,309
支払利息	148,907	137,751
出店計画中止損失	—	77,480
保険解約返戻金	—	△14,166
売上債権の増減額(△は増加)	15,025	△16,919
たな卸資産の増減額(△は増加)	△36,164	△21,138
仕入債務の増減額(△は減少)	58,674	63,214
未払消費税等の増減額(△は減少)	107,891	△15,727
その他	28,505	△90,440
小計	1,370,075	930,555
利息及び配当金の受取額	7,777	5,559
利息の支払額	△141,662	△125,644
災害損失の支払額	△15,260	—
保険金の受取額	63,738	—
法人税等の支払額	△57,543	△12,539
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,227,125	797,931
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△15,000	—
定期預金の払戻による収入	25,000	—
有形固定資産の取得による支出	△253,784	△305,567
有形固定資産の売却による収入	9,252	97,800
保険積立金の解約による収入	—	188,665
その他	△137,772	△88,327
投資活動によるキャッシュ・フロー	△372,304	△107,430
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	1,250,000	1,100,000
短期借入金の返済による支出	△1,350,000	△1,460,000
長期借入れによる収入	1,450,000	750,000
長期借入金の返済による支出	△1,030,857	△1,228,334
社債の発行による収入	—	882,431
社債の償還による支出	△231,000	△381,551
配当金の支払額	△50,677	△50,685
自己株式の取得による支出	—	△555,000
その他	△281	△8,480
財務活動によるキャッシュ・フロー	37,183	△951,619
現金及び現金同等物に係る換算差額	△34	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	891,970	△261,118
現金及び現金同等物の期首残高	1,339,741	1,526,553
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,231,711	1,265,434

(4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)

	飲食事業 (千円)	文化事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	8,518,085	1,898,292	10,416,377	—	10,416,377
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	8,518,085	1,898,292	10,416,377	—	10,416,377
営業利益	1,219,022	281,153	1,500,176	(741,101)	759,075

当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

	飲食事業 (千円)	文化事業 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	7,893,779	1,734,692	9,628,471	—	9,628,471
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	7,893,779	1,734,692	9,628,471	—	9,628,471
営業利益	1,027,632	212,499	1,240,132	(686,620)	553,511

(注) 1. 事業区分の方法

事業は形態別を考慮して区別しております。

2. 会計処理の方法

前第3四半期連結累計期間

(棚卸資産の評価に関する会計基準)

「四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更」4.(3)2に記載のとおり、第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準第9号平成18年7月5日)を適用しております。この変更に伴い、従来の方法によった場合に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益が、文化事業で10,078千円減少しております。

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がないため、該当事項はありません。

[海外売上高]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年12月31日)及び当第3四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年12月31日)

海外売上高がないため該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

① 新株予約権の行使

当社は、平成21年6月25日に取締役2名の退任により株式報酬型ストックオプション1,425個（普通株式142,500株）が、平成21年6月30日付で行使されました。この結果、第1四半期連結会計期間において資本金が137,737千円、資本準備金が137,737千円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が1,291,007千円、資本準備金が1,836,412千円となっております。

② 自己株式の取得

当社は、取締役会決議に基づき、平成21年9月11日に自己株式を300,000株、555,000千円取得いたしました。なお、当第3四半期連結会計期間末における自己株式は306,240株、562,948千円となっております。

6. その他の情報

該当事項はありません。